

行ってみよう!

# やかた みなみ区「館」めぐり

入館料  
無料

今月は、子供から大人までが楽しみながら学ぶことができる  
区内の施設を紹介します。  
もうすぐ夏休み、ご家族で足を運んでみてはいかがでしょうか？  
いろいろな発見と驚きに出会えるかもしれませんよ。

## 札幌市交通資料館

地下鉄自衛隊前駅高架下にある交通資料館。ここには市営交通の歴史を物語る古い写真や車両の部品など、貴重な品が所狭しと並べられており、当時を懐かしく思い出す方も多いことでしょう。また、実際に使われていたアクセルやブレーキを操作しながら動かす電車の模型は子供たちに人気です。

屋外には、地下鉄1号車など廃車になった市電・市バスが20車両展示され、車内も見学すること  
開館時間：午前10時～午後4時  
休み期間中、雪まつり期間中  
土曜・日曜・祝日、小学校夏休み期間中、雪まつり期間中  
開館時間：午前10時～午後4時

7月26日(土)には、「交通資料館まつり」が開催され、楽しい催し物も盛りだくさん(詳しくは全市版19ページ掲載)。この機会にぜひご利用ください。

所在地：真駒内東町1丁目  
☎(896)2723

開館日：5月から9月までの

土曜・日曜・祝日、小学校夏

休み期間中、雪まつり期間中

開館時間：午前10時～午後4

時



◀電車が円山公園まで走っていたころ、初詣で帰りの客を案内していたという「ちょうちん」。お祭りやお正月に発売された記念乗車券もあります



◀発車や停止の合図に使われていた打ち金。この音色から、昔は市電を“ちんちん電車”と呼んでいました



◀大正7年、札幌で初めて走った電車は木製でした。およそ18年間市民の足として活躍しました

## 札幌市豊平川さけ科学館



▶27種類ものサケの仲間を飼育・展示しています。中には絶滅の危機にあるサケ科の魚類も



▶展示ホールでは、サケの標本や解説パネルで生態について学習できます



▶数万分の1の確率で起こる突然変異で、目が赤く体が白っぽくなります

稚魚が見られるほか、秋には、

また、年間を通してサケの豊平川に生息するサケの飼育・放流などを行っています。豊平川にはシロサケですが、館内には27種類ものサケの仲間を飼育。その生態や豊平川の自然環境などが学習できます。豊平川には淡水魚など、たくさん種類の生物がいることにも驚かされます。

また、年間を通してサケの稚魚が見られるほか、秋には、  
また、年間を通してサケの豊平川に生息するサケの飼育・放流などを行っています。豊平川にはシロサケですが、館内には27種類ものサケの仲間を飼育。その生態や豊平川の自然環境などが学習できます。豊平川には淡水魚など、たくさん種類の生物がいることにも驚かされます。  
また、年間を通してサケの稚魚が見られるほか、秋には、

所在地：真駒内公園2丁目  
☎(582)7555

開館時間：午前9時15分～午後4時45分

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は次の平日)・年末年始

